

令和2年12月12日

当院入院中の患者様の新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ（第3報）

神戸朝日病院
院長 金 秀基

平素より当院の診療に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

12月4日以降、接触の可能性のある入院中の患者様（退院された患者様を含む）、透析患者様及び職員につきまして、12月10日までに380名についてPCR検査又は抗原定量検査を実施しました。

入院患者様、外来、病棟で勤務する全職員について検査を終え、これまでに職員24名（看護師16名・看護助手5名・コメディカル3名）と患者様（入院（退院された患者様を含む）・透析）53名が陽性と確認されました。

退院された患者様に対する健康観察も行い、必要な方には検査も行い、上記の検査数となりました。連日、神戸市保健所の指導・立入調査を受けながら対応を行っております。

患者様、職員については、健康観察を継続し、一度検査が陰性であっても、発熱等体調の変化に応じ再検を行い、その結果を踏まえ引き続き対策を実施しています。

陽性者の報告は、日に日に減少しており、徐々に収束に向かっております。

感染経路につきましては、現在、保健所と相談しながら調査を進めている段階です。

▶ 12月12日現在、下記の対応をおこなっております。

・全病棟において新規の入院患者の受入れ・退院・転院の中止

※隔離期間を過ぎ医師の退院許可の出した患者様の退院、神戸市のコロナ受入病院、施設への転院を除く

・外来診療は、規模を縮小して実施（限られた再診患者のみ受付）

・一部検査等の延期の検討

・透析診療は、時間帯等の変更を行い実施

・救急外来・救急搬送患者の応需中止

患者様、連携医療機関、施設の皆さまにはご心配と多大なるご迷惑をおかけすることとなり誠に申し訳ございません。今後も、保健所の指導に基づき、引き続き細心の注意を払い一日も早く、診療機能を回復できるよう取り組んでまいりますので、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。